

就任のご挨拶

検査部長 國崎 祐哉

2024年4月1日付けで、九州大学病院検査部長に就任いたしました國崎 祐哉と申します。就任に際しまして、皆様へのご挨拶をさせていただきます。

私は2023年に臨床検査医学分野の教授を拝命し、赤司浩一前検査部長のもとで1年間副部長を務めて参りました。検査部に移るまでは遺伝子細胞療法部で輸血検査、管理やフローサイトメトリーやHLA検査など移植関連検査に加え、造血幹細胞移植を始めとした細胞治療のための細胞採取などに従事しておりました。九州大学病院は国内有数の移植施設であるため、輸血や移植関連検査数も非常に多く、検査技師を始め業務に携わるコメディカルの皆様の貢献は計り知れません。また、近年キムリアに代表されるCART細胞治療が次々に保険収載され、九州大学病院も先陣を切って運用を開始いたしました。CART細胞一つをとっても、細胞採取から検査、製造、管理と全ての過程でGMP基準を満たす必要があり、またそれを検証、維持する必要があり、我々医師だけでは成し遂げることが難しく、様々な業種の方々と密に連携、協力し行う場面を多く経験しました。加えて、様々な癌においてもパネル検査が保険、研究レベルで開発され、院内におきましても、検査機器や精度管理だけでなく、検体処理、検査、データ解析、解釈、患者様への通知、その後のカウンセリングなど一連の組織構築が必要とされております。今後、検査部門は精度の高い検査を行うだけでなく、臨床医と他の部門の架け橋となり、院内の組織構築にとっても非常に重要な役割を果たす存在となると予想されます。更に検査部には病院内の検査データが全て集約、管理されており、その量も多様かつ膨大です。AIやbioinformatics技術を導入し、これらのビッグデータを解析することによって得られた知見を臨床、基礎医学の双方へ発信することにより、より積極的に働きかけることで、双方の研究の橋渡しや発展をリードする役割を果たせるのではないかと思います。検査部門の組織的な管理、運営にも努め、各診療科の臨床・研究活動を支え、九州大学病院の発展に貢献したいと考えておりますので、皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



《今号の紙面》

検査部部長よりあいさつ	…p.1
鉄分検査室	…p.2
新人紹介	…p.3
検査部からのお知らせ・編集後記	…p.4



鉄分検査室 第66回 《自動運転GoA2.5》 白いかもめ



今年3月に鉄道風景が変化する出来事がいくつかあった。

3月16日のダイヤ改正で北陸新幹線金沢・敦賀間が延伸開業した。

JR九州管内では大正11年(1922)生まれのSL人吉の8620形58654号が3月23日熊本・博多間往復の特別運行を最後に引退した。九州内で走る蒸気機関車の見納めとなった。

もう一つはダイヤ改正より鹿児島本線折尾・二日市間に若松線や福北ゆたか線や香椎線で活躍する白地に青いドアの塗色のBEC819系電車DENCHAが走りはじめたことである。



BEC819系電車は交流方式の蓄電池電車であり、交流電化区間は架線より電気を取り入れ走行し、非電化区間は蓄電池で駆動し走行する。Dual Energy Charge Trainの頭文字を取りDENCHAの愛称が付けられている。

令和元年(2019)12月より香椎線でBEC819系電車の自動運転走行試験が始まり、令和2年(2020)12月24日より営業列車を用いた運転士乗務での自動運転の実証実験を開始した。そして3月16日のダイヤ改正より香椎線173本中31本の列車で運転士が乗務しない自動運転乗務員乗務(自動運転GoA2.5)を開始した。



普通二日市行 鹿児島本線都府楼南駅

同じくダイヤ改正より鹿児島本線折尾・二日市間で営業列車を用いた運転士乗務での自動運転の実証実験がBEC819系電車を投入し開始された。令和7年(2025)度末までに自動運転乗務員乗務(自動運転GoA2.5)を鹿児島本線に導入する見込みである。

GoAとは、Grades of Automationの略である。GoA1は踏切等のある一般路線の運転、GoA2は半自動運転、GoA2.5は踏切のある路線の添乗員付き自動運転、GoA3は踏切の無い路線の添乗員付き自動運転、GoA4は踏切の無い路線の添乗員なしの自動運転である。GoA3にはディズニーランドのモノレールの舞浜リゾートラインがある。GoA4にはお台場を走るゆりかもめ等がある。香椎線のGoA2.5は踏切のある在来線で初の自動運転である。



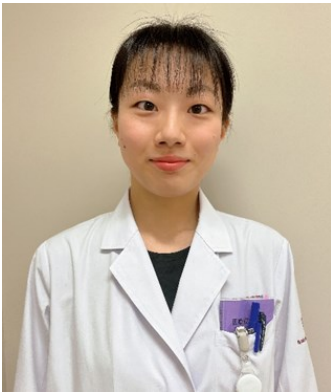
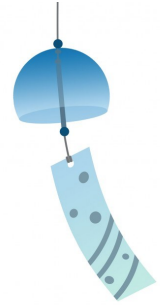
JR九州は少子高齢化・人口減少で乗降客数の減少や労働人口減少が予想されるため作業の自動化や機械化を長期的な経営戦略として進めている。GoA2.5の自動運転もその一つである。

医療界においても働き方改革により本年度より日当直体制の大幅な見直しが行われている。少子高齢化・人口減少により人材確保も困難になりつつあり同じような課題を抱えている。JR九州の試みは参考になるかもしれない。





新人紹介



深川 結妃 (ふかがわ ゆうき)

検査部に入職いたしました深川結妃と申します。慣れないことばかりでたくさんご迷惑をおかけしておりますが、先輩方の温かいご指導のもと、日々学ばせていただいております。

趣味は遊びに出かけることで、きれいな景色を見て写真を撮ったり、美味しいものを食べたりして散歩することが好きです。

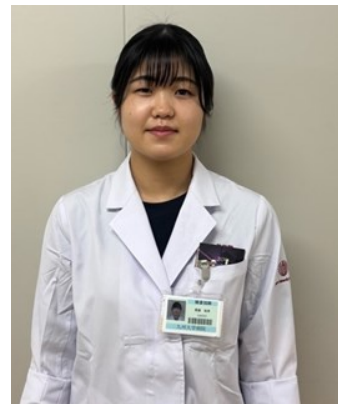
少しでも早くお役に立てるよう精進いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

假屋知来 (かりや はるな)

今年4月からお世話になっております。臨床検査技師の假屋知来と申します。就職と同時に一人暮らしを始めたので、慣れない家事で毎日バタバタしながらも規則正しく充実した生活を送れるように努めています。

休日はアニメやYouTubeを見て過ごすことが多いですが、元はサッカーやテニスをするようなアクティブな性格なので、いつかは社会人サークルなどの身体を動かす場に参加してみたいと思っています。

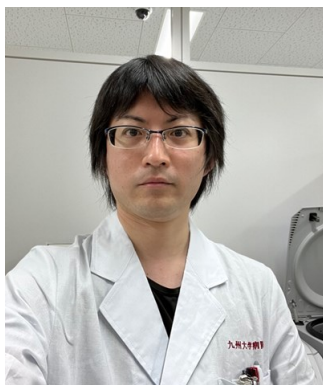
九州大学病院で多くのことを学びながら、臨床検査技師としても社会人としても成長できるように精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



上原 俊貴 (うえはら としたか)

臨床検査技師として病理診断科・病理部に4月から入職しました、上原俊貴と申します。前職場では約10年、病理検査業務を中心に検査業務に携わっておりました。前職場での経験も活かしながら、より良い医療を提供できるよう研鑽を積んでいければと思っております。

不慣れな点も多く、ご迷惑おかけすることもあると思いますが、ご指導の程よろしくお願いいたします。



検査部院外HPリニューアルのお知らせ

この度、検査部院外ホームページを全面的にリニューアルいたしました。
より使いやすいホームページを目指して、デザインとページの構成を見直しております。
これまで以上に有益な情報をお伝え出来るように努めて参りますので、
引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



アンケートへのご協力ありがとうございました

2024年1月、全病院職員を対象に、検査部・病理部webアンケートを実施しました。
大変お忙しい中、218名の皆様に回答のご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。
ご回答いただいたアンケート結果は、より良いサービスや業務改善に役立たせていただきます。
最後に、アンケートの実施につきましては至らない点がありました事をお詫びいたします。
今後ともよろしくお願いいたします。

検査部・病理部一同



【編集後記】

4月より新検査部長國崎先生のもと、堀田技師長率いる検査部に新人を迎えて新年度がスタートしました。私自身も新人の一人としてまだまだ慣れないことが多く、学ぶことの多い毎日です。

私が検査部に入入りしていたのは濱崎教授の頃でしたので、20余年ぶりに母校に戻り、検査部に並ぶ最新鋭の検査システムを見て回るのは壮観で、堀田技師長はじめ検査部の方々に色々教えて頂き大変お世話になっています。

今年春の帰国までの間、私は計18年間アメリカの中西部や西海岸を遊牧民のように転々としながら血栓症や出血性疾患など血小板・凝固に関わる研究に携わってきました。これまで行ってきた血液学研究、特に血栓止血分野のバックグラウンドを活かして國崎教授率いる研究室のスタッフ、各分野のエキスパートである検査部技師の方々と共に臨床科の方々と連携し、臨床検査・研究に貢献することができればと思っております。

自己紹介のような編集後記になってしまいましたが、今年度も検査部をどうぞよろしくお願い致します。

(金地)

